令和6年度 外交に関する国内世論調査（概要）

問1 対米外交（関係強化を期待する分野）（複数回答可）

- 1位：経済・貿易・金融 : 52.1%
- 2位：安全保障、テロ対策、軍縮・不拡散 : 49.7%
- 3位：経済安全保障 : 33.9%

問2 東アジアの安全保障環境（近年一層厳しさを増していると考えるか）

- そう思う : 81.5%
- そう思わない : 15.1%

問2-2（問2で「そう思う」を選んだ人に対して）安全保障環境悪化抑制の方途（複数回答可）

- 1位：同盟国である米国や、欧州諸国、オーストラリアといった友好国との連携 : 57.4%
- 2位：我が国自身の防衛力強化 : 47.4%
- 3位：対話を通じた外交努力 : 34.8%

問3 対中外交（重視すべき点）（複数回答可）

- 1位：領海侵入等に対して強い姿勢で臨んでいくこと : 60.9%
- 2位：地域及び国際社会の平和と安定を確保すること : 38.7%
- 3位：中国における在留邦人の安心・安全を確保していくこと : 35.4%

問4 対韓外交（推進すべき協力）（複数回答可）

- 1位：北朝鮮問題を含む安全保障 : 53.0%
- 2位：竹島問題の解決 : 35.7%
- 3位：歴史問題の解決 : 34.4%

問5 対中東外交（推進すべき点）（複数回答可）

- 1位：在外邦人・日本企業の安全確保 : 49.0%
- 2位：航行の安全確保を含むエネルギー安全保障 : 43.3%
- 3位：難民支援などの人道支援 : 37.4%

問6 ウクライナ情勢への対応（今後の重点分野）（複数回答可）

- 1位：G7を始めとする国際社会との連携の強化 : 59.9%
- 2位：ウクライナへの支援の強化 : 34.7%
- 3位：ウクライナから日本への避難民の受入れの推進 : 33.2%

問7 対アフリカ外交（TICAD9）（重視すべき点）（複数回答可）

- 1位：貧困、感染症などの社会課題解決に向けた協力 : 57.3%
- 2位：紛争、テロ、人道危機などの平和と安定に関する協力 : 43.7%
- 3位：日本企業のビジネス・投資促進 : 34.9%

問 8 外国による情報操作（偽情報流布の認識有無）

あると感じる：72.7%

ないと感じる：20.6%

問 8-2（問 8 で「あると感じる」を選んだ人に対して）真偽の確認方法（複数回答可）

1位：日本政府の情報を確認する：49.1%

2位：日本の報道機関の情報を確認する：42.9%

3位：日本の政府や報道機関以外のSNS上で日本語の情報を確認する：35.2%

問 9 国連外交（重視すべき点）（複数回答可）

1位：安保理改革や総会強化等の国連改革：40.0%

2位：国連平和維持活動（PKO）分野の取組：36.9%

3位：経済・金融分野の多国間での取組：31.4%

問 10 SDGS達成に向けた取組（日本の強み）（複数回答可）

1位：水・衛生：58.8%

2位：教育：40.4%

3位：防災：39.2%

（了）